

令和3年度第1回島根県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校部会開催概要

1 開催日時 令和3年7月15日（木） 13時15分～15時00分

2 開催場所 島根職業能力開発短期大学校会議室

3 主な議題

- ・令和2年度事業実施結果について
- ・令和3年度事業実施計画について
- ・意見交換（応募者拡大の取り組みについて） ほか

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・ポリテクカレッジ島根が設立されて約30年経つと聞く。地元住民からの高等教育を行う機関としての認知が不足しているため、中学生や地域の方々が来校されるよう工夫をする必要がある。また、保護者からの情報伝達は効果があるので、対策を練られることを期待する。OB会からの支援も効果が高い。
- ・江津市には、地域コミュニティが幾つもある。学生が、地域コミュニティに参加することも地元からの理解を得るチャンスである。
- ・ポリテクカレッジ島根の学生応募実績を踏まえ、安心できる状況ではないと考えられる。とくに、配布資料に江津市の奨学金制度があるが、この資料を高校生に配布しても、保護者には届かないと考えている。保護者に届く機会を設けるべきである。
- ・IT化、デジタル化が進展していくなかで、新技術に対する若者の関心が高くなっている。ポリテクカレッジがこれらの技術に関してはどこにも負けないということをPRしていただきたい。
- ・江津市長も言及しているが、ポリテクカレッジという高等教育機関が地元にあるということが、江津市（工業団地）へ企業を誘致する際の好材料となっている。

- ・人材確保が課題となっているなかで、ポリテクカレッジの優秀な学生が地元にいるのはありがたい。学生の県内就職促進に向けて協力していきたい。
- ・コンソーシアムを活用し、江津工業高校2年生全員がオープンキャンパスに参加するように働きかけを行い、高校とカレッジの連携を深めるための協力をしていきたい。

令和3年度第1回島根県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
中国職業能力開発大学校附属島根職業能力開発短期大学校部会委員名簿

和木田 登	(座長)	江津商工会議所	専務理事
田中 利徳		江津市教育委員会	教育長
土岡 勉		連合島根西部地域協議会	事務局長
今井 久師		今井産業株式会社代表取締役 (江津市建設業協会会長)	
景山 昭治		浜田公共職業安定所	所長
藤原 繁智		島根県西部県民センター商工観光部	部長
三木 和彦		江津市経済部門	参事